

記入例（初めて申告される方）

令和 ○○ 年度

初めて申告される方は、申告される年の1月1日現在所有している全ての資産を記載してください。

種類別明細書（増加資産・全資産用）

所有者コード		所有者名										1 枚のうち				
		吉税 償資										1 枚目				
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 (和暦)			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月					率	コード			
01	1		駐車場アスファルト舗装	1	5	3	02	3,600,002	10					1	2	
02	2		太陽光発電設備	1	5	3	04	4,000,000	17					1	2	
03	6		テレビ	1	5	3	02	900,000	5					1	2	
04	6		パソコン	1	5	3	02	280,000	4					1	2	
05	6		冷蔵庫	1	5	3	02	220,000	6					1	2	
06	6		エアコン	1	5	3	02	100,000	6					1	2	
07																
08																
09																
10																
11																
18																
19																
20																
小計				6				9,100,002								

企業電算処理による申告の場合はこの欄も記入してください。

【資産の種類】
以下の数字で記入してください。
1 = 構築物
2 = 機械及び装置
3 = 船舶
4 = 航空機
5 = 車両及び運搬具
6 = 工具、器具及び備品

【取得年月】
3 = 昭和
4 = 平成
5 = 令和
(例)平成25年7月の場合は「42507」となります。

【耐用年数】
法人税及び所得税における法定耐用年数を記入してください。

【増加事由】
該当する増加事由を○で囲んでください。
1 = 新品取得
2 = 中古品取得
3 = 移動による受入れ
4 = その他

3の場合、摘要欄に移動前の所在地を記入してください。

4の場合、摘要欄に理由を記入してください。

1月1日に取得した資産はその旨を表記してください。

注意:「年号」の欄は 3.昭和, 4.平成, 5.令和 それぞれ年号に対応する数字を記載してください。
「増加事由」の欄は, 1.新品取得, 2.中古品取得, 3.移動による受入れ, 4.その他 いずれかに○印をつけてください。